

事項七 極東ノ露領沿海ニ於ケル漁業ニ閔スル件

二五一 五月十一日 上山農商務次官ヨリ
幣原外務次官宛

農商務省官吏露領沿岸漁業視察ノ為派遣ニ閔スル件

スル件

水第一三三二号

大正六年五月十一日

(五月十二日接受)

農商務次官 上山満之進(印)

外務次官 幣原喜重郎殿

客年五月九日付水第一三三二号日露漁業協約更新改正準備ノ為本省官吏露領方面派遣ノ際ハ御配意ニ依リ万事好都合ニ相運候尙本年モ來月上旬ヨリ左記ノ通り調査員ヲ派遣スル予定ニ有之候条例ニ依リ露国政府ヨリ各関係ノ向ニ対シ可然訓令相成候様至急同政府ニ御交渉相煩度尚露國ニ於テハ過般政變有之候ニ付テハ出張員カ出發前及該地ニ於テ特ニ注意スヘキ事項等御心附ノ点有之候ハバ御回示相成度此段及照会候也

記

一、「チュコトスク」、「アナドイリ」及「オホトスク」南
部方面

農商務技師 越田徳次郎
ヨンタトクジロウ

一、堪察加州西海岸方面

農商務技手 伴誠一
バンセイイチ

二五二 五月十五日 在本邦露國大臣宛

露領沿岸漁業視察ノ農商務省官吏へ露國官憲

ヨリ便宜供与方依頼ノ件

通送第二三号

以書翰致啓上候陳者農商務省ニ於テハ今般漁業状態視察ノ為メ「オホツク」以南方面及「アナドイリ」、「チュコトスク」方面へ同省技師越田徳次郎並ニ堪察加半島西海岸方面へ同省技手伴誠一ニ出張ヲ命シ同官等ハ六月初旬函館ヨリ露國汽船ニ搭乗出發ノ筈ニ付到着ノ上ハ露國當該官憲ニ

於テ相当便宜供与相成候様閣下ニ御依頼方同省ヨリ依頼ノ次第有之候ニ就テハ右ノ趣至急極東代官ニ御照会相成度尚

時機切迫致居候ニ付可相成ハ同代官ヨリ電信ヲ以テ當該官憲ニ訓令有之様御申添方希望致候右御依頼旁本大臣ハ茲ニ閣下ニ向テ重テ敬意ヲ表候 敬具

註 添附ノ仮訳文ヲ省略ス

二五三 五月二十一日 在本邦露國大臣宛

露領沿岸漁業視察ノ農商務省官吏ニ便宜供与ニ

ニ閔スル件

第四三四号

千九百十七年五月二十一日 東京ニ於テ

露國大使

本野外務大臣閣下

以書翰致啓上候陳者本月十五日附第二三号貴翰ヲ以テ御申越ノ次第露國當該官憲へ照会致置候處越田技師並伴技手

「オホツク」地方及堪察加西海岸地方滯在中出来得ル限りノ便宜供与可致旨申越候間此段及御通知候右回答旁本使ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

通送第二七号

露領沿岸漁業視察ノ農商務省官吏へ便宜供与

取計ニ対シ謝意表明ノ件

二五五 五月二十四日 在本邦露國大臣宛

露領沿岸漁業視察ノ農商務省官吏へ便宜供与ニ

通送第五十九号

農商務省 鶴見水產局長

通商局長

二五四 五月二十二日 中村通商局長ヨリ
鶴見水產局長宛

露領沿岸漁業視察ノ農商務官吏へ便宜供与ニ

ニ閔スル在本邦露國大使書翰通報ノ件

回答有之候間右写茲ニ及御送付候也

註 別紙ハ五月二十一日付露國大使來信訳文ナリ前掲ニ付省略

ス

二五五 五月二十四日 在本邦露國大臣宛

露領沿岸漁業視察ノ農商務省官吏へ便宜供与

取計ニ対シ謝意表明ノ件

通送第二七号

露領沿岸漁業視察ノ農商務省官吏へ便宜供与ニ

以書翰致啓上候陳者今般漁業状態視察ノ為メ「オホツク」以南方面及「アナドイリ」、「チュコトスキ」方面へ越田

商務技師並ニ堪察加西海岸へ伴同省技手出張ヲ命セラレタ

七 極東ノ露領沿海ニ於ケル漁業ニ閔スル件 二五三 二五四 二五五

二四七

七 極東ノ露領沿海ニ於ケル漁業ニ關スル件 二五六 二五七

二四八

ルニ付便宜供与方ノ件ニ関シ本月二十一日付第四三四号貴翰ヲ以テ御来示ノ趣敬承致候右ニ閔スル閣下ノ御配慮ニ対シ深厚ナル認意表彰旁本大臣ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向テ敬意

ヲ表シ候 敬具

註 添附ノ仮訳文ヲ省略ス

二五六 十月六日 依北海道長官ヨリ

中村通商局長宛

露國領海ノ範囲ニ關シ照会ノ件

附屬書 北千島水産組合長ヨリ伺出ノ書面写

内勧第一二一五一号

(十月八日接受)

大正六年十月六日

北海道府長官 依 孫一(印)

外務省通商局長 中村 巍殿

國際上領海トハ普通三海里以内ト解スヘキ義ト被存候処管

下北千島水産組合組長ヨリ別紙写ノ通り伺出ノ次第有之候ニ付何分ノ御回示煩度此段及御照会候也

(附屬書) 北千島水産組合長ヨリ伺出ノ書面寫

大正六年九月十九日

本月四日付ヲ以テ御廳ヨリ當組合ニ向ケ當組合員中露國領海ニ出張シテ同國漁業監視船ニ捕ヘラレタルモノ有之今後嚴重取締方當業者ニ通達可致旨御達示ニ相成リ夫々通達致置キ候ガ露國領海トハ露國領土ヨリ何海里以内ノ海面ヲ包有スルモノニ候哉公法上將タ日露漁業協約上日露兩政府ニテ合意公認シタル距離何海里ナルヤ將來當業者ノ参考ニ致シ度ク此ノ機會ヲ以テ明確ニ諒解致度候間乍御手數其筋へ御知照ノ上御明示被下度此段及照會候也

二五七 十月十六日 依北海道長官ヨリ

露國領海ノ範囲ニ關シ回答ノ件

附記一 露領水產組合決議書

二 右決議ノ主意書

通送第七〇〇九号

本件ニ關シ本月六日付内勧第一二一五一号ヲ以テ御照会ノ趣了承從来我国ニ於テハ領海ノ範囲ヲ三海里ト定メ居ル次

(欄外註記)

「政府ノ監督下ニ在ル水產組合ニテ斯ノ如キ決議ヲ為シ萬一其ノ決議ノ漏洩スルトキハ如何(左記決議ノ主意書ハ松島秘書官ノ命ニヨリ添ヘタルモノニシテ右ハ組合ノ決議錄ニハ記載ナキモノナリ)」

(附記二)
決議ノ主意

近時露国ハ東薩加半島ヲ米国ニ売ラントシツアリトノ風説ヲ伝フルモノ一再ニ止マラス人ハ漫然之ヲ風説トシテ聞カンモ我等ハ此ノ風説ノ耳朶ヲ打ツ毎ニ転々驚心動魄ニ堪ヘサルモノアル也

曾ツテ米国ハ「アラスカ」半島ヲ露ヨリ買取り今ヤ單ニ海產物ノミヲ以テスルモ其生産年額數千万円ヲ數フルニ至レリ東半島ノ陸產物ハ未知數ナルモ單ニ海產物ノミニテモ優ニ年額五六千万円ノ收獲アルハ何人モ打算シ得ル所タリ況シヤ米ニシテ東半島ヲ買収セハ茲ニ世界ノ二大漁場ヲ兼併シ世界ニ於ケル鮭鱈蟹鱈ノ市場ヲ独占シ得ル絶大ノ利源右決議ス

大正六年十一月

露領水產組合(印)

外務大臣子爵法学博士 本野一郎殿

七 極東ノ露領沿海ニ於ケル漁業ニ關スル件 二五七

北千島水產組合組合長 和島貞二
根室支庁長 飯田誠一殿

露國領海區域ニ關スル件

米ノ日ニ臨ム地理上ノ至便果シテ如何ソヤ米ノ窮カニ東半島ニ垂涎スルモノ付度ニ難カラサル也

翻ツテ露ノ現況ヲ觀ルニ物資ノ欠乏ハ其極ニ達シ紙幣ハ下落シテ無償ノ紙片ニ化セルニアラスヤ左レハ露ノ領土中從来經營難ヲ唱ヘ余リニ重視セサル東半島ヲ一国ノ命脈ヲ維ク為ニ先ツ之ヲ犠牲ニ供スルハ覩易キ情勢タルニアラスヤ米露両國ノ情勢其レスノ如シ我等カ此ノ風説ニ寒心スルモノ決シテ以ナシト謂フ可カラス若シ然ルカ如キアラハ我帝國ハ如何ニシテ之ヲ阻止セントスル乎

或ハ曰ハシ縦令ヒ売買成立スルモ日露漁業協約ノ権利ハ依然之ニ附隨シ米国ト雖モ之ヲ無視スル能ハナルニアラスヤト然レトモ米国ハ該協約附帶スルモ何等障礙ト為サザル可シ何トナレバ協約上ニ於ケル我帝國民ノ租借權ナルモノハ競爭入札ニ拋ツテ定マルモノニ過キサルカ故ニ米国事業家ノ豊カナル資本ト大ナル組織トヲ以テ競売場裏ニ立ツ我漁業者ハ乍殘念無抵抗ヲ以テ敗退スルノ外ナキヲ熟知スレハ

ナリ

如斯ナラハ戰勝ノ獲物ノ一タル日露漁業協約ナルモノ只タ一片ノ空文ヲ紙上ニ留ムルニ終ラン

是ニ於テ乎我等ハ日露漁業協約上ニ於ケル我帝國ノ権利即チ租借權ヲ速カニ確立スルノ急要ナルヲ叫ハサルヲ得ス然

ラハ租借權ヲ獲得スル方法如何曰ク或ハ軍事上ノ援助或ハ金員等其ノ手段ハ蓋シ幾様セアル可シ

數歩ヲ退キ東半島売買ハ風説ニ止マルトセソモ日露漁業協約ノ更新期ハ実ニ明後年ニ迫レリ而シテ更新又ハ改正談判ニ依ツテ獲ル所ノモノハ蓋シ我等ノ希望ノ幾分ニ過キサルヲ予知スルニ難カラス故ニ今ニ於テ租借權ヲ確立シ更新談判ニ由ツテ獲ル所ノモノヨリヨリ以上ノ大ナル利權ヲ獲得スルノ良策タルヲ知ル而シテ今ノ時ハ実ニ是レ絶好ノ機会タリ此機一タヒ逸ス世界ニ於ケル一大漁場ノ大利權ヲ失ヒ他日脅ヲ噬ムモ及フナケン幸ニ當局ハ果断ノ処措ニ出デラレントヲ邦家百年ノ大計ノ為ニ切望ノ至リニ堪ヘサル也

事項八 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件

二五八 三月三日

在ヴァンクーバー浮田領事ヨリ
本野外務大臣宛（電報）

三月一日開会ノ英領コロナビア州議会ニ於テ

ハ排日的問題發生セザルベキ旨報告ノ件

第八号

二閑スル件

種々ノ事情ニ依リ延期シ來リタル「ビー、シー」州議会ハ

昨一日開会本官ハ同日開院式及知事ノ official dinnerニ參列シ閣員及反対党首領等ト談話ノ機會ヲ得タルカ其ノ口吻ニ依レハ本期議会ニ於テハ格別排日的問題發生セサルモノノ如ク察セラル尤目下出征兵士帰還後ニ於ケル善後方ニ

関シ労働問題頻リニ朝野ノ間ニ研究セラレ同時ニ東洋人排斥ノ声揚カリ居ル際ナレハ日本人ニ関シテモ何時如何ナル議案提起セラレサルヲ保セス

昨日ノ紙上ニ暴露サレタル独逸ノ日墨捲込策ハ晚餐席上話題トナリタリシモ日本カ墨国ニ武器ヲ供給セリトノ新聞

ヲ信シ居レルモ曩ニ日本カ墨国ニ武器ヲ供給セリトノ新聞

ハ「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 二五八 二五九

電報ト相待チテ多少帝国ノ行動ニ対シ不安ノ念ヲ挾ム模様

モ見エサルニアラス

二五九 三月十七日

在ヴァンクーバー浮田領事ヨリ
本野外務大臣宛

本邦移民渡航制限緩和ヲ加奈陀政府ニ交渉方

附屬書

在ヴァンクーバー浮田領事ヨリ在オタワ沼野總領事ヘ申進置候条
野總領事宛阿往機密第二號寫

機密公第五号

(四月十日接受)

大正六年三月十七日

在晚香坡領事 浮田 郷 次 (印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

本件ニ關シ別紙写ノ通り在オタワ沼野總領事ヘ申進置候条

御查閱相成度此段申進候 敬具

(附屬書)

阿往機密第二號